

1. はじめに

2019 年度は 10 月に台風 19 号による被災があり、2 月からは新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛・テレワークの実施など私たちの毎日の生活には大変困難な状況が続いています。協会活動も専門部・サークルの活動に大きな影響が出て、理事会や協会例会も 2 月、3 月と開催を中止しました。

このような状況の中、協会は昨年同様聴覚障害者の社会参加の推進、福祉の向上を目指して、東京都福祉保健局との懇談会や都議会各会派との予算ヒアリングを行い、東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実、バリアフリーなまちづくりなどを求めてきました。また、耳マークの普及を通じて聴覚障害者への理解を求める活動を東京都内の様々な機関に対して行いました。これらの活動を実行できたことは、認定 NPO 法人としての協会に対する社会の一定の評価の表れであり、協会の社会的責任をより一層自覚させられた 1 年でした。

また、昨年の総会でご説明させて頂きました協会の財務状態改善につきましては、昨年 10 月から「協会財務改善」特別カンパを実施し、会員の皆さまの絶大なご支援で 2,155,000 円のカンパをいただくことが出来ました。頂きましたご厚志を大切に活用し、協会の財政が長期的に安定したものとなるように、役員一同はより一層努力していくことを決意しております。

2. 協会の対外活動

2019 年度の協会の対外活動は、昨年度同様東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、コミュニケーション学習の充実を求める行動を中心に進められましたが、国政レベルでは国会内に難聴対策推進議員連盟が作られ、「ジャパン ヒアリングビジョン (Japan Hearing Vision)」が発表されました。そこでは、ライフステージごとの難聴者の課題に対する提言が行われ、新生児聴覚スクリーニングや高齢難聴者に対する認知症対策、軽度・中等度難聴者に対する補聴器助成などが大きなテーマとなっており、協会の従来への活動テーマに加え、医療面での活動の強化を認識させられました。

東京都の意思疎通支援者派遣事業は「東京都聴覚障害者意思疎通支援事業 (広域型行事への意思疎通支援者派遣) 運営要綱」に従って実施されています。しかしながら、派遣目的の公益性・広域性の要件は依然として維持されており、障害者団体の利用が限定され、協会の理事会や専門部の役員会などが対象外となるなど協会活動を大きく制限する実態は変わりませんでした。年度ごとの事業予算には若干の増加が図られていますが、都道府県レベルの広域的な意思疎通支援事業としての位置づけは不明確な状態が続いており、上部団体である一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 (全難聴) の活動と連携して、より一層の意思疎通支援事業の拡充を求めて行く必要があると考えます。

一方、コミュニケーション学習においては東京都主催の中途失聴・難聴者手話講習会や手話通訳等養成講習会指導者クラスの中途失聴・難聴者コースが、昨年度同様実施されました。しかしながら、中途失聴・難聴者手話講習会の多摩会場のクラス増や東京都読話講習会の多摩地域での実施は、依然として実現していません。また、東京都手話通訳等養成講習会指導者クラスの中途失聴・難聴者コースは入門クラス対象の手話指導者の養成が中心であり、より進んだクラスの手話指導者の養成が課題でしたが、東京都への要望が実を結び、2020 年度は従来への 12 回の講習会が 32 回に拡大される見込みです。これを受けて、中途失聴・難聴者の手話学習の環境整備が更に進むことが期待されます。

数年来懸案となっている「耳マーク」普及活動については、東京都の一部交通機関での耳マーク掲示が実現しましたが、都庁・各区市町村施設での耳マークの普及は不十分な状況が続いています。2019 年度は 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けての福祉のまちづくりへの取り組みが加速し、新国立競技場にはヒアリンググループ席が設けられました。しかし、私たちが日ごろ利用する施設でのヒアリンググループの整備は非常に遅れております。「耳マーク」は聴覚障害者への理解を求める、福祉のまちづくりを進める非常に有効なツールです。聞こえの環境整備・ヒアリンググループの普及を福祉のまちづくりの大きな動きにしていくために、「耳マーク」と「ヒアリンググループマーク」を一体とした私たちの行動が求められていることを実感いたします。

3. 協会の対内活動と組織強化

3.1 対内活動

1月18日、中野区の「なかのZERO小ホール」において400名を超える方に参加頂き、「第33回東京都中途失聴・難聴者の集い」を開催しました。実行委員はじめ会員の皆様のご協力で無事開催することが出来ましたことに、改めてお礼申し上げます。

協会の通年事業としては、前年度同様「地域コミュニケーション啓発講座」を開催し、地域での中途失聴・難聴者の自立のための学習活動を行いました。また、例年通り「高齢難聴者生きがい講座」、「手話講習会応用クラス」、「実践読話講習会」などを開催し、高齢難聴者の憩いの場として「手を動かそう」を毎月1回開催しました。協会が毎年実施するこれらの講座・講習会は、中途失聴・難聴者が交流を通じて学習を重ねる「場」として着実に実績を積み上げています。また、サークルは会員の交流の場として今年度も非常に大きな役割を果たしました。非会員や支援いただく人への働き掛けなどの課題を抱えていますが、今後ともサークル活動を中途失聴・難聴者の自助・共助の「場」として更に強化していきたいと考えます。

一方、協会の組織面では会員の増加が困難な状況が続きました。会員数の減少は当事者団体に共通する課題ではありますが、協会の2019年度末の正会員の数は589人とどまっています。会員増加は、協会の総力を挙げて取り組む必要のある課題であり、そのための理事会・専門委員会・専門部・サークルが一体となって会員増加の行動を進めることが待たなしの状況になっています。

また、専門部再編成につきましては、2019年度の事業計画において、「コミュニケーション関係の専門部のあり方について検討すること」を掲げていましたが、1月理事会に於いて「コミュニケーション委員会」の設置が決まりました。協会の横断的課題への取り組みのためには事業委員会、広報委員会、防災委員会の3つの専門委員会が現在設置されていますが、それに加えて2020年度より「コミュニケーション委員会」を設置し、協会のコミュニケーション関連事項に係わる課題を解決してまいります。

3.2 協会財政

決算報告にある通り、2019年度は会員各位にご協力いただきました「協会財務改善」特別カンパが大きく寄与し、一般会計収支2,697千円の黒字で終えることが出来ました。改めて皆さまのご支援に感謝いたします。しかしながら、特別カンパを除けば、協会財政の実態は依然として赤字体質であり、今後の協会財政安定のためには、変動費(事業費)は事業収入(集い・講習会参加費、物品販売や講師派遣料)や補助金収入・助成金収入を充当することを原則とし、固定費は会費収入、寄付金収入、雑収入を充当することが必要と判断しております。特に、会費収入の増加につきましては、来年度正会員の増加に加え、賛助会員の拡大に注力したいと考えております。

4. まとめ

協会は2013年8月に認定NPO法人の資格を得て、5年後の第1回認定更新を昨年4月に受けました。多くの認定NPO法人は更新認定にあたって厳しい実地調査を受けており、一般のNPO法人に比べて事業の公共性と組織運営の透明性が強く求められています。そのような認定NPO法人として、協会はその社会的役割を自覚し、定款目的にある「都内在住の中途失聴者、難聴者をはじめ、広く聴覚障害者全般に対して、福祉の増進と、生活・文化の向上を図る事業を行い、地域社会に寄与すること」の達成のために1年間活動を続けてまいりました。

新型コロナウイルス感染拡大の終息には長い時間が予想されます。会員各位の毎日の生活や協会の活動にも今後様々な影響が出てくることが予想されますが、会員の皆さま、役員一同力を合わせて、次年度の活動を行ってまいりましょう。様々な課題を抱えた協会ですが、次年度の協会活動へのご支援を改めてお願いする次第です。

事業報告(一覧)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	延べ人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳に関する講座	2月1日	中野サンプラザ	90
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	月1回程度	東京都障害者福祉会館 他	565
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	年8回	東京都障害者福祉会館	207
	実践読話講習会	年16回	東京都障害者福祉会館	226
	地域コミュニケーション啓発講座	年4回	小平市・大田区・多摩市・世田谷区・国分寺市(中止)	183
	地域福祉相談支援ゼミ(手話講習会応用クラス三田)	年18回	東京都障害者福祉会館	729
	手話講習会応用クラス多摩	年18回	多摩障害者スポーツセンター	541
	例会	年9回	東京都障害者福祉会館	303
	高齢者対象「手を動かそう」	年11回	東京都障害者福祉会館	283
	講師等派遣	東京手話通訳等派遣センター・国立障害者リハビリテーションセンター学院 他		27
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集、提供事業及び他団体との連絡調整	会報「協会ニュース」発行	月1回	当会事務所 他	165
	ホームページ運営	随時更新	当会事務所	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	随時	当会事務所	10
	第33回集い	1月18日	なかのZERO	435
中途失聴者、難聴者にかかわる相談、支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年10回	東京都障害者福祉会館	193
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	14
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	当会事務所	10
中途失聴者、難聴者の文化・芸術、スポーツの振興を図る事業	文化系活動	月1~2回	東京都障害者福祉会館 他	3618

2. 収益事業

自動販売機による委託販売(6か所7台)

東京都庁第一本庁舎鍛冶屋橋クラブ・東京都江戸博物館・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園・東京しごと財団(2台)・東京都第六建設事務所(2019年10月より仮庁舎へ移転のため撤去)・東京都多摩職業能力開発センター八王子校

事業報告

事務局

1. 体制

事務局長：宇田川芳江 職員：石田豊子・井田いく子・千羽荘一・松枝朋美

2. 活動報告

- ・理事会 4/27、5/25、6/22、7/27、8/24、9/28、10/26、11/16、12/21、1/25、2/22(中止)、3/28(中止)
- ・東京都福祉保健局との懇談会 7/4 (48人)
- ・人工内耳に関する講座 2/1 中野サンプラザ(午前 35人・午後 55人)
- ・「字幕付胃検診」受付 9/7(15人)・12/7(11人)
- ・高齢者対象「手を動かそう」 毎月第1金曜日 11回実施
- ・協会ニュース発送 毎月第2金曜日 12回 会員有志の協力
- ・「第49回耳の日記念文化祭」参加 3/7・8(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- ・「自立支援センターまつり」参加 7/15
- ・「みみカレッジ」参加 11/17
- ・例会 毎月第4日曜日 11回

実施日	テーマ	参加者数
4月28日	2019年度事業説明会	26
5月26日	通常総会	426 (出席 61)
6月23日	新たな課題 聴覚障害者の参政権	20
7月28日	交流会(登要会・全要研東京支部)	44
8月25日	協会と私 スペシャル	34
9月22日	グラレレコーディング講座	32
10月27日	新入会員説明会&交流会	35
12月22日	クリスマス会	51
1月18日	第33回東京都中途失聴・難聴者の集い	435
2月23日	手話で楽しくコミュニケーション!	中止
3月22日	スマートフォンでできることを増やそう!	中止

事業委員会

1. 体制

委員長：新谷友良 委員：宇田川芳江・大江千枝・小笠原晶子・丸山由美子

2. 活動報告

委員会開催 4/17、5/22、6/19、7/17、8/21、9/18、12/25、1/22、2/19、3/18

3. 事業報告

I 助成事業

(1) 東京都福祉保健財団助成事業

- ① 実践読話講習会
- ② 高齢難聴者生きがい講座(運営担当：実年部)
- ③ 地域福祉相談ゼミ(手話講習会応用クラス三田)
- ④ 地域コミュニケーション啓発講座(運営担当：組織部)

II 協会委託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1) 聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都教育委員会委託事業)

III 協会事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1) 手話講習会応用クラス多摩
- (2) 高齢者対象「手を動かそう」

IV 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1) 東京都中途失聴・難聴者手話講習会(三田・多摩)
- (2) 東京都読話講習会
- (3) 手話指導者養成クラス(中途失聴・難聴者向け手話指導)
(5/16、5/23、5/30、6/6、6/20、7/4、7/18、8/1、8/22、9/5、9/12、9/19)
- (4) 講師派遣事業
 - ① 東京都心身障害者福祉センター相談支援従事者初任者研修(11/26)
 - ② 国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科講義(9/6、9/13、9/20、10/4)
 - ③ 東京手話通訳等派遣センター東京都手話通訳等養成講習会(7/3、7/24)
 - ④ 中野区中途失聴・難聴者の会「みんなの聞こえの学習会」(11/9)
 - ⑤ NPO 法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン「白金台いきいきカフェ」(8/23)
 - ⑥ 中央区要約筆記啓発講座(1/14、1/21、1/28、2/4)
 - ⑦ 東京都手話サークル連絡協議会一日研修会(1/26)
 - ⑧ 中途失聴・難聴者「つばさの会」府中読話講座(2/8)
 - ⑨ 東村山市「聞こえにくい人とのコミュニケーション講座」(2/18)
 - ⑩ 渋谷社会保障推進協議会学習会(2/14)
 - ⑪ NPO 法人川崎市中途失聴・難聴者協会「川難聴耳の日の集い」(3/1)⇒中止
 - ⑫ 八王子市社会福祉協議会要約筆記協力者学習会(3/23)⇒中止

広報委員会

NPO法人にふさわしい広報活動に向け、協会の広報媒体を見直し、刷新に努めた。

1. 体制

委員長:新谷友良 委員:宇田川芳江・小島敦子・皆川みさ子・村田美和・山内菜央子

2. 活動報告

- (1) 委員会開催 4/10、5/8、6/12、7/10、8/14、9/11、10/16、11/13、12/26、1/29、2/20
- (2) 「協会ニュース」について、会報編集部と内容・編集作業の見直しを進めた。
専門部・サークルの協力を得、紙面の充実を図る。
会報印刷会社を変更した。
- (3) 協会ホームページについて、適切な情報発信と更新が速やかにできるよう、検討を重ねた。
- (4) フェイスブックとホームページとで連携して情報発信できるよう進めている。

防災委員会

1. 体制

委員長:小川光彦 副委員長:木村昭夫 委員:小谷野依久・松之木礼毅

2. 活動報告

- (1) 委員会開催 4/9、6/6、7/11、8/8、9/5、10/3、11/7、1/9、2/6、3/5(ネット会議)、3/29(ネット会議)
計11回
- (2) 台風19号状況調査、10月理事会で報告
- (3) コロナ等災害対策のためネット会議の方法試行検討
- (4) 東聴連災害対策会議出席
- (5) 各委員の地域防災訓練参加
- (6) 会報に委員会報告・防災コラム掲載
- (7) 依頼に応じ防災講演(つばさの会府中9/21)、防災シンポジスト(都手話サークル連絡会1/26)等の協力

福祉対策部

1. 体制

部長: 小川光彦 会計: 南由美子 部員: 小谷野依久・宮本忠司・橋爪由利

2. 活動報告

(1) 協会内部

- ①部会実施 4/11、5/27、6/19(チャット)、6/23、7/31、8/4、9/10、10/23、11/27、12/25(チャット)、1/22、2/19(チャット)、3/18の13回
- ②協会6月例会 6/23「新たな課題 聴覚障害者の参政権」を担当。20名参加。
- ③学習会5回実施。

実施日	テーマ	参加者数
8月4日	「そうだったのか！難聴者が聞こえない理由」医師 田村浩一氏	65
8月21日	「社会を変えたい人のためのファンドレイジング入門」曾田夏記氏	9
11月2日	部内学習 補聴器工場見学 リオンテクノ(八王子)	6
11月10日	「働く難聴者のためのビジネスフレームワーク」(青年部合同企画)	49
3月18日	部内学習 「社会に物申す!？」	4

④耳マークグッズの検討

使いやすさ、時代に合わせた耳マークの意義、耳マークに添える文言について議論。

⑤施設・交通アクセシビリティ事例の収集・情報交換・課題抽出

⑥協会ニュースへ随時福祉関係情報提供

⑦協会8月例会「マルシェ」、10月例会「新入会員説明会」等、協会諸行事の実施に協力

(2) 協会外部

- ・7/4 対東京都予算交渉懇談会 要望案

3. 補足

- (1)「1部員が1年に1度1企画」という形で企画を担当している。
- (2)外部への広報や報告にタイムリーにSNSを活用したい。SNSは非会員に協会のことを周知し、関心をもってもらうきっかけとなる効果があると考えている。また、ソーシャルアクションをしたいと思って入会した会員が活動に関われる場は専門部しかない。入りにくい印象にならないように、学習会は公開と部内のバランスをとっている。
- (3)協会財政状況を深く考慮し、行事開催においては部の独自収入をはかり、部の運営維持、効果的な事業実施に努めている。

手話対策部

1. 体制

部長: 坂山己世 副部長: 石川千鶴・丸山利江 会計: 国吉玲子

部員: 市川裕美・掛水泉・河合優子・神尾優子・斉藤祐子・志村瞳・関ひかり・長沼知子・中村麻子・中村みずほ・和田すが

2. 活動報告 場所: 東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月8日	部会	9	10月21日	部会	7
5月13日	ミニ手話講座担当国会議	6	11月11日	部会部内研修2回目板宮由美子氏	11
5月13日	部会	9	11月17日	谷千春氏講演会	88
6月10日	ミニ手話講座担当国会議	5	11月27日	わくわく手話講座	14
6月10日	部会第1回研修高井洋氏	10	12月9日	部会	9

7月8日	ミニ手話講座担当者会議	3	12月21日	コミュニケーション教室司会担当	1
7月8日	部会	8	12月21日	理事会参加	1
7月24日	コミュニケーション専門部	1	12月22日	協会12月例会クリスマス会	6
8月19日	ミニ手話講座担当者会議	5	1月20日	部会	6
8月19日	部会	10	1月22日	事業委員会に参加	3
9月9日	ミニ手話講座担当者会議	6	2月10日	部会	11
9月9日	部会	10	3月9日	部会	中止
9月29日	ミニ手話講座	44	3月18日	わくわく手話講座上級編	中止
10月2日	役員会議	3	3月28日	役員会議	中止

会報編集部

1. 体制

部長:小島敦子 会計:小栗由美子

部員:入江友紀子・岩崎幣介・堀川すみれ・山田恵美子 オブザーバー:皆川みさ子(広報委員会から)

2. 活動報告

(1)会報「協会ニュース」の編集

(2)編集会議 4/10、5/8、6/12、7/10、8/14、9/11、10/9、11/13、12/11、1/8、2/12、3/11 全12回

(3)初校校正 4/3、4/17、5/22、6/26、7/24、8/28、9/25、10/23、11/27、12/23、1/29、2/27、3/25 全13回

組織部

1. 体制

部長:有馬富江 副部長:井桁洋子・金子晶子 会計:青木房子

部員:岩崎幣介・江口祐子・岡田修・小林圭子・前川信・丸山由美子

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月13日	部会	東京都障害者福祉会館	9
5月7日	ネットワークニュース110号配信		
5月11日	部会	東京都障害者福祉会館	9
5月18日	小平市地域コミュニケーション啓発講座 「聞こえにくくなってからのコミュニケーションを学ぼう」 講師:坂山己世氏	小平市中央公民館	50
6月8日	部会	東京都障害者福祉会館	9
6月21日	多摩市社会福祉協議会と打合せ	多摩市総合福祉センター	2
7月13日	部会	東京都障害者福祉会館	9
7月26日	ネットワークニュース111号配信		
8月3日	部会	東京都障害者福祉会館	10
9月14日	部会	東京都障害者福祉会館	9
9月21日	大田区地域コミュニケーション啓発講座 「知ってほしい、聞こえにくさのあれこれ」 講師:宇田川芳江氏	大田区障がい者総合サポートセンター	60
10月12日	部会	東京都障害者福祉会館	中止
10月25日	ネットワークニュース112号配信		

10月27日	協会10月例会「新入会員説明&交流会」	東京都障害者福祉会館	45
11月9日	部会	東京都障害者福祉会館	9
11月30日	多摩市地域コミュニケーション啓発講座 「聞こえは大丈夫？」 講師：坂山己世氏	多摩市総合福祉センター	23
12月14日	部会	東京都障害者福祉会館	8
1月11日	部会	東京都障害者福祉会館	9
1月24日	ネットワークニュース113号配信		
2月8日	部会	松原6丁目福祉施設	7
2月8日	世田谷区地域コミュニケーション啓発講座 「聞こえを知ってみよう」 講師：瀬部保夫氏	東京リハビリテーションセンター 世田谷	82
2月28日	ネットワークニュース臨時版配信		
3月14日	部会	国分寺労政会館	中止
3月14日	国分寺市地域コミュニケーション啓発講座 「難聴者の防災対応を考えよう」 講師：小川光彦氏	国分寺労政会館	中止

その他、各開催会場の下見を実行。

10月部会は、台風のため中止。

3月部会、3月14日国分寺市地域コミュニケーション啓発講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

実年部

1. 体制

部長：関根一喜 会計：吉田桂子 部員：菊地久江・中村麻子

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月19日	「カップヌードルミュージアム横浜」見学会	カップヌードルミュージアム 横浜	24
6月21日	手話講座「手話をもう一度⑤」 講師：中村みずほ氏	東京都障害者福祉会館	36
7月19日	読話講座 講師：大江千枝氏	東京都障害者福祉会館	24
9月20日	葛西臨海公園	JR京葉線・葛西臨海公園駅	23
10月18日	「頭を柔らかくしてみませんか」	東京都障害者福祉会館	17
11月15日	「東京湾の無人島は如何ですか」	横須賀市・猿島	25
1月17日	初詣・新年会 富岡八幡宮初詣・バイキングランチ	門前仲町・お茶の水	24
2月21日	「高齢者向け介護予防体操」 講師：東京YMCA米澤竜彦氏	東京都障害者福祉会館	申込 23 中止
3月20日	「防災・減災③」	東京都障害者福祉会館	中止

女性部

1. 体制

部長: 明田美奈子 副部長: 渡辺江美 会計: 今井初恵 記録: 高田香苗

部員: 青木知子・寺田由紀子・樋口真弓・横山恵留美

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月4日	企画会議、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	5
5月30日	6月企画、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	4
6月1日	講演会「女性のための防災」葛西優香氏	東京都障害者福祉会館教室	12
7月4日	企画会議、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	5
8月1日	8月企画、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	4
8月3日	企画「ミニ縁日☆」	東京都障害者福祉会館 C1	13
9月5日	9月企画、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	3
9月7日	講演会「ななふく苑」岩田恵子氏	東京都障害者福祉会館教室	18
10月3日	10月企画、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	3
10月5日	企画「押し花で素敵な小物を作ろう！」	東京都障害者福祉会館児童室 B	17
10月31日	11月企画、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	5
11月2日	企画「フラダンスを踊ろう！」	東京都障害者福祉会館教室	14
12月5日	協会 12月例会(女性部担当)、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	4
12月19日	協会 12月例会(女性部担当)、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	5
12月22日	協会 12月例会「クリスマス会」	東京都障害者福祉会館 A1・2	51
1月9日	次年度企画案作成、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	3
1月30日	2月企画、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	4
2月8日	企画「筆談ボード作り」	東京都障害者福祉会館 B2	18
3月5日	次年度活動計画会議	東京都障害者福祉会館 C1	4

青年部

1. 体制

部長: 高野悠人 副部長: 岡森裕太 会計: 安井彩乃 企画担当: 藤中辰郎 相談役: 石川寛和

部員: 寺田翔・酒井宏長・深澤雄太・久保琴音

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月13日	防災体験学習ツアー	防災体験学習施設 そなエリア東京	7
5月25日	高尾山食べ歩きツアー	高尾山	7
6月22日	ボードゲーム大会	聴力障害者情報文化センター	10
6月23日	競馬場見学ツアー	東京競馬場	6
7月15日	みんな DE 人狼ゲーム (第21回自立センターまつり内企画)	リフレッシュ氷川	30
8月17日	美術館へ行こう!	東京都美術館	9
9月22日	協会 8月例会グラフィックレコーディング講座	東京都障害者福祉会館	32
11月10日	今を考える! 働く難聴者のためのビジネスフレームワーク(福祉対策部合同企画)	東京都障害者福祉会館	42

【手話サークル 三田昼】

1. 体制 代表:中村麻子 副代表:小栗由美子 会計:笹本直子・飛鳥レイ子 総務:大野義信・國田恵子
会員数:63名
2. 活動日時 毎月第2金曜日もしくは第2土曜日のどちらかを選択 13時30分~15時30分
毎月第4土曜日 10時~12時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 第2週:五十嵐郁子氏 第4週:東邦子氏
5. 活動報告 毎月の手話学習のほか、8月交流会、12月クリスマス会を実施

【手話サークル 三田夜】

1. 体制 代表:清水政昭 副代表:渡辺美恵子 総務:鍛冶聡 会計:中角淳子 補佐:岩田紘一
会計監査:井上春江 会員数:43名
2. 活動日時 毎月第1・第3土曜日 18時~20時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 ふくろうクラス:宮本正明氏 みみずくクラス:伊勢正子氏
5. 活動報告 手話学習会:年間20回(両クラス合同学習会 11/19実施)
親睦会:深大寺散策食事会、納涼会、日帰りバス旅行、忘年会、新年会

【多摩手話サークル】

1. 体制 代表:志村瞳 副代表:青木房子 会計:寺本玲子 会員数:20名
2. 活動日時 毎月第2・第4木曜日 13時30分~15時30分
3. 活動場所 味の素スタジアム施設・東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 和田すが氏
5. 活動報告 4/11(総会)、4/25、5/9、5/23、7/11、7/25、8/8、8/22(納涼会)、9/12、9/26、10/10、
10/24(野外活動)、11/14、11/28、12/12、12/19(クリスマス会)、1/9、1/23、2/13、
2/27(休会)、3/12(休会)

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制 代表:小島敦子 会計:板橋桂子 庶務:新井京子 総務:平高真澄・小机淑子 会員数:29名
2. 活動日時 毎月第1・第3火曜日 13時30分~15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター 他
4. 講師 真藤千枝氏
5. 活動報告 年度途中で会場が味の素スタジアムから国立へ越し、また会場の予約が取れず立川会場になる
ことが多かった。講師学習は10回。オリパラに向けたスポーツ関連手話、気象関連手話、選挙関
連手話などの新しい表現や「物語のその後」を考え豊かな表現を学びました。自習は6回。クイズや
クロスワードを解いて、手話表現を学びました。クリスマス会では会員相互の交流を楽しみました。

【三田書道サークル】

1. 体制 代表:片山善衛 会計:小澤宏之 会員数:6名
2. 活動日時 毎月第1・第3木曜日 13時30分~16時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 木下修子氏(書道師範)
5. 活動報告 会員の自主性を重んじて自由テーマで臨書。耳の日記念文化祭の展示品の作製に注力したが、
新型コロナウイルス・ショックで中止になったことは残念です。
サークルの講師、生徒もそれぞれ高齢、病弱化したので、2020年3月で解散しました。

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表:片山善衛 会計:山家一恭 会員数:15名
2. 活動日時 毎月第2木曜日 13時30分~16時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 石井幸子氏(日本絵手紙協会講師)
5. 活動報告 四季の植物、動物、生活の行事など生徒の筆で描き、ハガキをポストインして交流。耳の日記念文化祭は新型コロナウイルス・ショックで中止は残念でした。

【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 会員数:6名
2. 活動日時 毎月第1・第3水曜日 18時~21時(この間で稽古自由)
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 飯野理堯氏
5. 活動報告 四季折々の花材(輸入花も増え)を楽しみながら技術向上に励んだ。

【読話サークル】

1. 体制 代表:沖田健吉 会計:井上春江 副会計:石井やい子 窓口:入月幸子 委員:大江千枝
2. 活動日時 毎月第2・第4水曜日 18時30分~20時30分
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 活動報告 4/10(13)、4/24(7)、5/8(10)、5/22(12)、6/12(11)、6/24(11)、7/10 交流会(13)、7/24(11)、8/28(8)、9/11(6)、9/25(8)、10/9(10)、10/23(6)、11/13(8)、11/27(10)、12/11 交流会(13)、1/8(11)、1/22(10)、2/12(11)、2/26(中止)、3/11(中止)、3/25(8) *()内は参加者数

【昼の読話サークル】

1. 体制 会計:岩淵悠子 副会計:清水智恵子 委員:柿崎栄子・須合誠子 窓口:井上春江
2. 活動日時 毎月第1・第4水曜日 14時~16時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 井上春江氏
5. 活動報告 4/3(15)、4/24(15)、5/22(15)、6/5(12)、6/26(14)、7/3(12)、7/24(13)、8/7(8)、8/28(11)、9/4(15)、9/25(14)、10/2(12)、10/23(11)、11/6(12)、11/27(21)、12/4(14)、1/8 交流会(16)、1/22(14)、2/5(12) *()内は参加者数
その時の話題、シルバー川柳、季節の花、慣用句、四字熟語などを読み取る学習をした。

【多摩月曜手話サークル】

1. 体制 代表:石川千鶴 副代表:山田恵美子 会計:笹木佳子 会員数:17名
2. 活動日時 毎月第1・第3月曜日 13時30分~15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 田中陽子氏
5. 活動報告 講師指導:(9回)5/21、6/18、7/2、9/3、10/15、11/19、12/17、1/21、2/18、3/18(中止)
自主学习:(10回)4/23、5/7、6/4、7/23、9/10、10/1、11/5、1/7、2/4、3/4(中止)
総会:4/16 交流会:12/3